

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

道 徳		東京書籍
総 評		学校生活等の実生活に即した教材が多く配置され、児童が主体的に考え、学ぶことを通して、道徳的態度等を育成できるように工夫されている。また「いじめ防止」にかかわっては、特に高学年で複数の時間を設け、直接的、間接的教材を通して、いじめをしない、許さない心を育むことができる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 自由と責任において、例を挙げ、児童にわかりやすく解説した後、問題場面を通して、話し合い活動を行わせ、その重要性を重んじる態度を育成できるよう工夫されている。③ ○ 人物の生き方を通して、児童の克己心や強い意志を育み、目標を持って取り組みを進めていこうとする態度を養えるよう配慮されている。⑤
	2 内容の取扱い	○ いじめ問題を各学年で、直接的教材と間接的教材を組み合わせながら学習することで、児童が深く考えられるよう配慮されている。② ○ 内容項目「生命の尊さ」について、全学年にわたって、教材が複数配置され、指導時期も考慮されている。このことにより、効果的に命を尊ぶ態度が養われ、よりよい生き方について考えが深まるよう、配慮されている。⑦ ○ 情報モラルの教材については、児童の実態に応じて教材が配置されている。④ ○ 学習活動ページ「出会う・ふれ合う」について、教材やシートに書き込む活動を取り入れ、他者とよりよく生きる力を育むよう工夫されている。① ○ 問題解決的な学習について、関連教材を含め、発達段階を考慮して、主体的に児童が道徳的实践を行えるよう配慮されている。③
	3 外的要素	○ 文字、挿絵・写真の大きさや色遣いも配慮されている。①②③
	4 構成・配列	○ 学校行事等との関係が考慮された教材が配列されている。②
	5 資料・その他	○ 挿絵の絵柄が親しみやすく、写真・図表なども児童が興味を持つように工夫されている。②
特に工夫配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 他教科との関連性、特に低学年のインクルーシブ教育の教材が少ない。⑤
	2 内容の取扱い	○ 考える観点は示されているが、問題解決的な学習や自ら問題意識を持って多面的・多角的に考える学習を展開するには工夫を要する。①
	3 外的要素	○ 写真や挿絵の印象にばらつきがある。③
	4 構成・配列	○ 内容項目別の分類がないので、使いにくい。①
	5 資料・その他	○ ワークシートや考えの手立てとなるようなものが少ない。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

道 徳		学校図書
総 評		教材を「読み物」と発問を載せた「活動」に分けることによって、児童が教材から主体的に課題を発見できるように工夫されている。また、事前に児童に教材を読ませることによって、指導者が十分な時間を使って指導できるようにも配慮されている。さらに、いじめ防止にかかわっては、多様な立場の人を取り上げ、ともに生きていこうとする態度を育てよう工夫されている。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 全国の様々な祭りに題材を求め、我が国の文化・伝統を尊重し、育んでいこうとするよう配慮されている。② ○ パラリンピックや視覚障がい者の方が取り組むマラソンなど多くの資料が挙げられ、インクルーシブの考えを意識できるよう配慮されている。⑤
	2 内容の取扱い	○ いじめの防止については、「公正、公平、社会正義」等の内容項目で、いじめにつながる状況について考えさせる教材が多数取り扱われ、児童の具体的な生活場面で、自分との関係において考えられるよう配慮されている。② ○ 分冊「活動」について、道徳的価値に迫る問いかけが提示され、一人一人が考えたことや発見したことについて意見交換することを通して、物事を多面的、多角的に考え、自己の生き方について考えを深められるよう工夫されている。③ ○ 分冊「読み物」について、発問を載せず、児童が主体的に課題を発見するよう工夫されている。⑤ ○ 「活動」において、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を行い、道徳的实践を主体的に行う意欲と態度が育めるよう配慮されている。⑥ ○ SNS の危険性等、情報モラルに関する指導内容が、自由と責任等の視点で考えられるよう工夫されている。④
	3 外的要素	○ 全体的にさし絵が大きく見やすい。③
	4 構成・配列	○ 学校行事等との関連に配慮して4つの視点がバランスよく配列されている。① ○ 活動ノートが内容項目ごとに一見開きになっていて、児童の心の変容や学びの深まりが実感できるようになっている。②
	5 資料・その他	○ 保護者向けのページがあり、家庭との連携を図ることも考慮している。①
特に工夫配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 大阪にふさわしい新しい文化の創造という点については、取り上げ方が少ないと感じる。⑤
	2 内容の取扱い	○ 児童が考えを深め、判断し、表現にする力が育めるような構成には工夫を要する。④⑤
	3 外的要素	○ 挿絵と文章が重なっている箇所もあり、ユニバーサルデザインの視点で課題を感じる。④
	4 構成・配列	○ 分冊されているため、1時間の学習時間内に消化しきれない懸念がある。② ○ 読み物・活動ノートが分かれて、進めにくい。①
	5 資料・その他	○ 「活動」に多く書くところがあり、考えをまとめたり深めたりするには課題がある。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

道 徳		教育出版
総 評		教材の末尾にある「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」を使って、主体的・対話的で深い学びを促すよう工夫され、新たな気づきや発見につながる配慮がなされている。また、いじめ問題については、各学年の発達段階に即した多様な教材が多く、いじめ防止につながるよう配慮されている。さらに、「スキルトレーニング」等で、道徳的实践につながるような指導ができるよう工夫されている。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 世界のあいさつや給食、世界的に活躍する人物を取り上げ、世界の文化に触れ、国際社会に対する興味・関心が持てるよう配慮されている。② ○ 日本の伝統的なものや日本人が広めたものなどを取り上げ、我が国の良さを感じ、郷土を愛することができるよう配慮されている。⑤ ○ 人物を扱う教材を通して、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上、何事にもくじけず、努力を惜しまない態度を育成できるよう工夫されている。②
	2 内容の取扱い	○ 巻末に振り返りページが設けられており、自らを振り返って成長を実感したり、これからの目標や課題を見つけたりできるよう工夫されている。⑤ ○ 導入部分で、どの価値について学習するかを把握した上で、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」が示され、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。① ○ 低学年では、身近な電話番号について、高学年では、インターネットやメッセージのやり取りについて取り上げて、それに対する法律などの解説もあるなど、発達段階に応じて情報モラルを考えられるよう配慮されている。④ ○ 様々な現代的な課題を題材とした教材が多く、自分との関係において、その解決に寄与しようとする意欲、態度が育つよう工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ 文章にルビが多く振られており、読みの苦手な児童に配慮がなされている。②
	4 構成・配列	○ 同じ内容項目の資料を連続して配列しているところもあり、重点主題教材や内容項目間の関連が明確にされている。①
	5 資料・その他	○ 児童の身近な動物や人物が取り扱われている。②
特に工夫配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 国際理解に関することは、少し内容が薄い。③ ○ インクルーシブに関する視点の教材がもう少しあれば、さらに充実する。⑤
	2 内容の取扱い	○ 学びの手引きが具体的すぎて、問題解決的な学習や、多面的・多角的に考える学習指導を展開する際には工夫を要する。⑥
	3 外的要素	○ 「学習の手引き」の背景や文字の大きさが本文と同じで罫線もないので分かりづらい。②
	4 構成・配列	○ 単元の始まりが左ページにある。② ○ 挿絵が暗く古めかしい印象があった。③
	5 資料・その他	○ 道徳ノートがなく、教科書の巻末に書き込む部分が少なく、児童の考えを深める点で課題がある。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

道 徳		光村図書出版
総 評		導入、教材、手引きの流れで、1時間の授業展開を見ることができる。特に、手引きの中に、道徳的な問題をおさえ、道徳的価値を深め、自分の生き方に返す発問があるので、学習者はもとより、指導者も学習を進めやすい。また、「つなげよう」では、他の教科や日々の生活へと広がるよう工夫されている。さらに、コラムとユニットを組み、「いじめをしない、させない、見過ごさない」が系統的に指導できるよう配慮されている。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 世界の文化や伝統を取り上げ、異文化を理解し、国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮している。② ○ 「いじめ問題」に結びつく教材を多く取り上げ、コラムとユニットを組み、互いを認め合う心やいじめを許さない心が育成されるよう工夫されている。④ ○ 多様な考えや感じ方を取りあげ、インクルーシブ教育システムの充実と推進に配慮されている。⑤
	2 内容の取扱い	○ 「生命の尊さ」について、複数教材を配置することにより、「命」の大切さや生きることのすばらしさについての考えが深まるよう工夫されている。⑦ ○ 我が国の伝統や国際親善などを取り上げ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことについて配慮されている。④ ○ 気持ちを表す言葉や表現に触れ、人とのつながりを重視した視点に立っている。⑥ ○ 「つなげよう」では、各教科に関わるような問いかけや、学習後に次の行動につながるような工夫が見られる。また、学習のまとめりと「学びの記録」が設けられ、自分の学びの変化や成長を振り返られるよう工夫されている。①
	3 外的要素	○ 必要最低限の文・挿絵等でまとめられおりシンプルで見やすい。② ○ 漫画教材も取り入れ、視覚的にわかりやすい工夫をしている。③
	4 構成・配列	○ 児童の一年の成長を考慮して、学習のまとまりを4つに分けているので、1年間を見通せる構成になっている。① ○ いじめ防止や情報教育など、現代の課題に対しコラムと資料をひとまとまりにしてユニットを組んで学習できるよう工夫している。②
	5 資料・その他	○ 「ころりん」「きらりん」の心のキャラクターを使い、児童が興味をもち、学習意欲が持続するよう工夫されている。②
特に工夫配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 大阪にふさわしい新しい文化の創造に関することについては課題がある。⑤
	2 内容の取扱い	○ 長文が多く、1時間の授業で指導することは難しい教材がある。特に、低学年が読み切れない。②
	3 外的要素	○ 教科書が他者に比べると小さいため、文字が小さくなり書き込みスペースも少し狭い。①
	4 構成・配列	○ 目次で学習指導要領の4つの内容が色分けされておらず、視覚的にわかりやすい工夫が必要である。①
	5 資料・その他	○ 写真や図表、グラフは最新のデータにする必要がある。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

道 徳		日本文教出版
総 評		文科省作成の教材や学校生活を題材とした教材等、多様な教材が選ばれ、児童が読み取りやすいよう配慮されている。また、「気づく」「考える」「見つめる」の指導過程が、発問例としてあげられ、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。さらに、指導のねらいに即して、意図的に「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学びを実現することができる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 国際社会で生き抜く力を育むことができるように、教材を配慮し、世界的視野をもつことができるよう工夫されている。⑤ ○ 「いじめ防止」では、各学年で重点的に指導できるように複数の教材で構成されている。④
	2 内容の取扱い	○ いじめについては、いじめの事象そのものの教材だけでなく、「相互理解、寛容」や「友情、信頼」「生命の尊重」などを内容項目の教材と組み合わせる等、複数の教材を集中的に扱う構成にすることで、この問題に対する心情や態度を養う工夫がされている。① ○ 冒頭に導入のための発問例やあらすじ、主な登場人物が紹介されていて、児童が学習のめあてを持ち、教材に対して見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。③ ○ ユニットには「心のベンチ」と組み合わせたものがあり、関連した内容や活動が示されていて、より深い学びができるよう工夫されている。⑤ ○ 別冊の道徳ノートを活用することで、自分の考えを基に話し合ったり、書いたりするなどの言語活動の充実ができるよう工夫されている。⑤ ○ 体験的な学習や問題解決的な学習に適した教材には、学習の手引きを設け、ペアトークやグループトークの学習形態が示されていて、主体的・対話的な学びが実現できるよう工夫されている。⑤
	3 外的要素	○ 文字、挿絵、写真など大きさや色遣いに配慮されていて読みやすい。①② ○ カラーユニバーサルデザインを意識して、色調や色の組み合わせのバランスがよく、読み取りやすさに配慮している。③④
	4 構成・配列	○ 発達段階に配慮して、生活目標や学校行事、他教科の学習内容を考慮して組織・配列されている。① ○ 重点主題教材や内容項目間の関連が明確にされている。①
	5 資料・その他	○ 写真を多用し実生活に即しており、自分のこととして考えやすい。① ○ 児童に身近なアニメや人物が取り扱われている。②
特に工夫配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ インクルーシブ教育に関する教材は少ない。④
	2 内容の取扱い	○ 別冊の「道徳ノート」は書く箇所が多いため、書く活動に時間がかかり話し合っって考えを深める活動をするためには配慮が必要である。③
	3 外的要素	○ イラストと文字が少し重なり、文字が見えにくいところがある。②③
	4 構成・配列	○ 道徳ノートは文字数が決められている学年もあり、児童の考えを書く言語活動には配慮を要する。②
	5 資料・その他	○ 別冊の道徳ノートは、点線が入り、書きづらく感じる。①

令和２年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第４地区）

道 徳		光文書院
総 評		１つの教材が「導入」「展開」「終末」「発展」とひとくくりになっていて、授業の流れがよくわかるよう工夫されている。また、各学校で内容項目の重点化を図れるよう４０の教材が配置されて、年間計画を柔軟に作ることができるよう配慮されている。さらに、巻末に「学びの足あと」をつけ、児童が授業で思ったこと、考えたことを書かせ、それを学期末の評価にも活用できるよう工夫されている。
特に優れている点	１ 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 発達段階に合った教材を取り上げ、児童が他国に興味・関心をもち、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮されている。⑤ ○ いじめに関わることは重要内容項目とし、複数教材を取りあげ、さらにスキルも取り入れて、深く考えられるよう工夫している。④
	２ 内容の取扱い	○ スポーツなど身近なことを取り上げ、我が国を愛し、他国を尊重する心情を育てる工夫がされている。① ○ いじめ防止については、直接的、間接的な教材を通して、児童自身の問題としてとらえられるよう配慮されている。① ○ 「学びの足あと」に学習したことの振り返りを記入することで、自分の成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりできるよう工夫されている。⑤ ○ 教材が「問い」「考える」「まとめる」「広げる」で構成されていて、児童が考えを深め、判断し、表現する力が育まれるよう工夫されている。また、他教科や学校生活、家庭生活、地域社会などへのつながりをもたせ広げていくヒントが示されている。①⑥ ○ 情報モラルに関する教材は、インターネットやスマートフォンの使い方を取り上げていて、児童の実生活に適しており、発達段階や特性等に考慮されている。また、コラムを取り入れ、情報社会で適正な行動を行う基になる考えや態度について考える工夫がされている。⑥
	３ 外的要素	○ 冊子のサイズが大きく、文字のフォントも大きく、読みやすい。①② ○ 挿絵、写真も大きさや色遣いに配慮されている。③
	４ 構成・配列	○ 他の教科の学習内容、伝統的行事との関連が図られて、教材が配列されている。① ○ 重点主題教材や内容項目の関連が目次で色分けされ、明確である。② ○ 「ひろげる」で道徳の学習で学んだことを他教科や学校生活へつながるよう工夫されている。②
	５ 資料・その他	○ 児童に身近なアニメのキャラクターや人物を取扱い、学習意欲を引き出すように工夫されている。②
特に工夫配慮を要する点	１ 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 郷土愛を育てる教材が少ない。⑤
	２ 内容の取扱い	○ 考える観点は示されているが、問題解決的な学習や問題意識をもって学習展開を行うには配慮が必要である。⑤
	３ 外的要素	○ 教材ごとに字体や文字の大きさが違って見にくい。②
	４ 構成・配列	○ 下段の吹き出しの取り扱いが難しい。②
	５ 資料・その他	○ 教科書に書き込めるスペースが少ないので、児童の考えを深める点に課題がある。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

道 徳		学研教育みらい
総 評		「考え、議論する」道徳を推し進めるため、他者の意見をもとに、児童が多面的・多角的に道徳的価値を考えられるよう工夫されている。また「考えよう」「広げよう」「深めよう」「つなげよう」等、多様な学びの展開ができるように工夫されている。さらに、いじめ防止については、それを下支えする内容項目からアプローチをかけ、全体として、「いじめを許さない」心情を育むよう配慮されている。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 国際理解の観点では多面的・多角的に考えるよう工夫されている。④ ○ 直接的ないじめ表現ではなく、日常起こりうる問題を場面設定した教材を通して、児童自ら考え生活につなげていけるよう工夫されている。④ ○ 「生命の尊さ」を重んじる教材を連続して取り扱うことで「命の尊さ」を多面的に考えることができる工夫がされている。⑤ ○ 心豊かに力強く生き抜き、未来を切り拓くための体力の向上に配慮されている。②
	2 内容の取扱い	○ いじめ防止につながる内容項目を重点化して考えさせるよう工夫がされている。⑦ ○ いじめについて直接的な内容ではなく、いじめ防止の観点を取り入れて、「生命の尊さ」を重んじる教材を連続して扱っている。複数時間扱うことで、「命の尊さ」を多面的に考える工夫がされている。②⑦ ○ 問題解決的な「やってみよう」「広げよう」「ふかめよう」「つなげよう」と学びを深められるよう多様な学びの展開ができる工夫がされている。⑥ ○ 情報モラルに関する教材が児童の実生活に適しており、発達の段階や特性等に考慮されている。③
	3 外的要素	○ 必要最低限の文・挿絵・写真でまとめられおり見やすい。①②③ ○ 文字の大きさ、挿絵等も大きさや色遣いに配慮されている。①②③
	4 構成・配列	○ 特になし
	5 資料・その他	○ 児童にとって親しみやすい動物や身近に感じることができる歴史上の人物が取り扱われている。②
特に工夫配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ いじめ問題について、メッセージ性の強い題材を使用しているが、具体的な題材で迫る教材があっても良い。⑤ ○ インクルーシブ教育に関する資料が少ない。⑤
	2 内容の取扱い	○ 直接的ないじめの教材があってもよい。④
	3 外的要素	○ 規格サイズが大きい。①
	4 構成・配列	○ 特に1学期、低学年の教材に長文が多い。学習時期を検討する必要がある。①
	5 資料・その他	○ 本文に出会う前に、主題（ねらい）が書かれていないため、考えが深めにくい。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

道 徳		廣 濟 堂 あ か つ き
総 評		児童が主体的かつ対話的に学習できるよう、「考えよう 話し合おう」が設けられ、自分の生き方について深く考えられるよう工夫されている。また、全学年に共通重点項目（「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊重」）を掲げ、発行者としての軸が示されている。さらに、道徳ノートでは、心に残っている授業の記録を残すことで、評価につなげることもできる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 直接的ないじめ表現ではなく、日常起こりうる問題を場面設定した資料を通して、児童が自ら考え生活につなげていけるよう工夫されている。④ ○ 高学年では、点字や段差のない写真が載せられ、バリアフリーに関心を持つよう配慮されたり、人種差別の内容や下半身不随の人などが教材に取り上げられたりして、インクルーシブについて意識することができる。⑤
	2 内容の取扱い	○ 生命の尊さについて、児童の発達段階に応じた「命の教育」に関する特集のページと合わせて学習することにより、生命の尊さについての考えを深められるよう工夫されている。⑦ ○ 教材末尾の「考えよう 話し合おう」が設けられており、学習の道筋や教材をもとに考える問い、自己に照らして考える問いが示され、学んだ内容を一層広げられるよう配慮されている。そのことを通して、自己の生き方についての考えをより深められるよう工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ 必要最低限の文・挿絵・写真でまとめられおり、シンプルで見やすい。①②③
	4 構成・配列	○ 同じ内容項目を連続で学習できるよう構成され、児童の考えを深めさせる工夫がされている。①
	5 資料・その他	○ 学習を振り返る道徳ノートがあり、自らの道徳性の成長を実感したり、課題や目標を見つけたりできるよう工夫されている。②
特に工夫配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ グローバル的な教材が多いので多文化共生について意識することができる。⑤
	2 内容の取扱い	○ いじめについて、深く話し合うような資料が少ない。⑦ ○ 考える観点は示されているが、問題解決的な学習や自ら問題意識をもって多面的・多角的に考える学習展開をするには工夫を要する。⑥ ○ 葛藤場面のある資料が少ない。②
	3 外的要素	○ 文字が小さく、発達段階にふさわしくない。②
	4 構成・配列	○ 目次で学習指導要領の4つの内容項目がわかりにくい。①
	5 資料・その他	○ 教科書とノートの関連がわかりにくく扱いにくい。② ○ 発達段階を踏まえると内容・外的要素・構成がシンプルすぎる。②